回覧

地域整備活動

公共性が高い施設を対象とした整備活動を始めました。大きな修繕はできませんが、汚れが目立つ看板を清掃したりベンチを塗装し直したりなど、簡単にできて見栄えが良くなるような取組をしていきます。

今回は、本町から神原に上がる小道の旧街道をイメージしたイラストの清掃を行いました。クズのツルが掛かって見えにくくなっている部分は、ツルを刈りはらいました。

今後も、こうした人が歩く場所・人目に付きやすい場所を中心に整備活動をしていきたいと思っています。

地域整備活動の対象

左の写真のような、公共的な看板・ベンチ・あずまや・歩道などを許可をいただいて整備していく考えです。経年劣化が進んだ掲示物を印刷し直して再掲示あるいはリニューアルするような取組も進めたいと思っています。

おとなりさんぽ

遠山郷 旧木沢小学校

遠山郷の旧木沢小学校を訪れました。木造の校舎を開放し、地域の文化や産業等にまつわる資料を各教室に展示しています。文化圏を同じくする水窪と重ね合わせながら、かつての暮らしに想いをはせることができました。

全ての教室に魅力があり、何回も訪れたいと思わせてくれる場所でした。かつて水窪と深く交流があった遠山郷。これからも折に触れて足を伸ばしたいところです。

懐かしいオルガンがずらり。音も出ます。

タイムスリップしたような感覚に。

旧木沢小学校正面

欲しかった遠山の森林鉄道本を購入することができました。

→ねこ校長の高峰（たかね）さん

コウヤマキ（南木曽）

アスナロ（南木曽）

スギ（水窪山住）

知ると楽しい樹木の世界

天然ヒノキ（水窪朝日山）

サワラ（水窪朝日山）

ネズコ（水窪徳久保）

杉と木曽五木

趣味の樹木観察をするために南木曽を訪れました。木曽には、江戸時代に伐採が禁じられた「木曽五木」（ヒノキ、コウヤマキ、アスナロ、ネズコ、サワラ）が生育しています。特に、普段なかなか見ることができないコウヤマキやアスナロの森林を見ることができたのが、とても嬉しかったです。

今回は、これらの木曽五木に水窪でもおなじみのスギを加えた六種類の樹木の特徴を紹介します。山を歩いたり木材製品を購入したりする時に参考にしてみてください！

【スギ・杉】スギ科

天竜地域で最もよく見る樹木。水窪の街から見渡して見える緑はほとんどスギと言っても過言ではありません。比較的、水分や栄養分を好むため、谷沿いや斜面中腹に植えられることが多いです。春埜杉（周囲長十四メートル）、山住のご神木（周囲長九メートル）など周辺地域でも大木を見ることができます。

【ヒノキ・檜・桧】ヒノキ科

こちらも天竜地域でおなじみの樹木。比較的乾燥に強く、斜面中腹から尾根筋にかけて植えられます。日本では最高級の建築材料として多くの神社仏閣に使用されています。スギと比較して、枝が枯れ落ちにくいため、植林地では、間伐や枝打ちをしないと暗くてうっそうとした林になりがちです。

【コウヤマキ・高野槙】コウヤマキ科

一科一属一種という唯一無二の樹種であり、日本の特産種です。成長が極めて遅いため、植林には不向きです。木材は湿気に強く、風呂桶、おひつ、食器などに最適です。水窪の山には自生していません。

【アスナロ・翌檜】ヒノキ科

香りが非常に強い木。木材は刃当たりが良く、まな板に適しています。湿気や腐れに強く、風呂桶や鉄道の枕木にも使われます。「明日はヒノキになりたい」→「あすなろう」というのが名前の由来だと言われています。

【ネズコ・鼠子】ヒノキ科

ヒノキ科で樹皮や葉が少し黒味がかっているため、クロベ（黒桧）とも呼ばれます。水窪の山では通常自生はしていませんが、徳久保集落跡に一本の大木を確認しています。枝ぶりが良く、節が多い樹木です。

【サワラ・椹】ヒノキ科

湿気に強く、風呂桶やおひつに重宝されるほか、軽くて狂いが少ないことから、漆器などにも使われます。寿司のシャリ切りをする桶として最高と言われています。水窪でも自生しており、朝日山の山頂付近などで見ることができます。

※　木材の性質については、木材大事典（村岡忠親 著）を参考

【樹皮一覧】個体・樹齢によって質感は異なります。樹木を見分けられると季節を問わず山歩きが一層楽しくなります！

アスナロ

コウヤマキ

サワラ

ヒノキ

スギ（老木）

ネズコ（老木）

＜連絡先＞　栗島 ： 080-1623-0565　　水窪協働センター　地域振興グループ ： 053-982-0001